



令和5年度前期

技能検定受検案内 技能五輪長野県地方大会(予選会)参加案内

○ 令和5年度より、放電加工職種は非接触除去加工職種に名称変更され、シーケンス制御職種が電気機器組立て職種から独立し、新職種として設けられました。

- 新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、試験会場や検定委員の確保ができない場合には、技能検定を中止することがあります。その場合は、受検手数料をお返しいたします。
また、検定当日は新型コロナウイルス感染防止策を講じた上で実施いたします。(3ページ参照)
- 新型コロナ感染症対策のため申請者が多数となった場合は、以下により実技試験の受検者数を制限させていただくことがあります。
 - ・長野県に在住又は在勤されている方を優先させていただきます。
 - ・定員を超えた場合又は定員を定めていない職種においても、申請者が多数となった場合は、受付期間終了後に抽選等の調整を行わせていただき、抽選を行った場合は申請された方への通知および抽選となった職種名(作業名)を当協会のホームページでお知らせいたします。抽選に洩れた方の手数料はお返しいたします。(定員のある職種(作業)は5ページ(2)項参照)

- 技能検定は、働く人々の有する技能を一定の基準により検定し、国として証明する国家検定制度で技能に対する社会一般の評価を高め、働く人々の技能と地位の向上を図ることを目的として、職業能力開発促進法に基づき実施されています。
- 技能検定の受付け、試験の実施等の業務を各都道府県の職業能力開発協会が実施しています。
- 技能検定に合格された「特級、1級及び単一等級」の方は厚生労働大臣より、また、「2級及び3級」の方は長野県知事より合格証が交付され、「技能士」の称号が与えられます。
- 技能検定は、長野県技能競技大会を兼ねており、技能検定合格者のうち実技試験成績優秀者は、長野県知事又は長野県職業能力開発協会長から表彰されます。
- 本人確認のための提出書類
受検申請時の年齢に関係なく、本人確認書類(運転免許証、学生証、健康保険被保険者証等の写し等)の提出が必要となります。(16ページ参照)
- 実技試験問題の概要について
実技試験問題の概要は、右記の当協会ホームページを参照願います。<http://www.navada.or.jp>
- 特別の配慮を必要とする障がい者の方が受検申請をする場合は、受検申請時に当協会にご連絡ください。

受付期間(土曜・日曜を除く)

令和5年 4月3日(月)~ 4月14日(金)まで

*最終日の消印有効です。

	目	次
1	実施日程	2ページ
2	受検手数料	2ページ~
3	新型コロナウイルス感染拡大防止等について	3ページ
4	実施職種(作業)及び実施日	4ページ~
5	受検申請の手続き	6ページ
6	受検票の送付	6ページ
7	合格発表及び合格通知等	7ページ
8	試験問題の公開	7ページ
9	正解の公開	7ページ
10	自己情報の開示	7ページ
11	表彰	7ページ
12	受検資格	8ページ
13	試験の免除資格	9ページ
	別表	10ページ
14	技能五輪長野県地方大会	11ページ
15	受検申請書・受検案内書等の請求と問い合わせ先、個人情報の保護	12ページ
16	技能検定についてよくある質問	13ページ
17	申請書記入例	14ページ~
18	年号対照・年齢・卒業年度早見表	18ページ
19	技能検定試験問題集申込用紙	19ページ
20	技能検定受検申請内容変更連絡書	20ページ
21	申請書提出時の確認事項	20ページ

長野県職業能力開発協会

〒380-0836 長野市大字南長野南県町 688-2

電話: 026 (234) 9050(代) FAX: 026 (234) 9280

1 実施日程

申請受付	令和5年4月3日（月）～4月14日（金） ・6ページ、「5 受検申請の手続き」を参照願います。
実技試験問題の公表	令和5年5月30日（火） ・当協会で公表しますが、受検票に同封し送付します。
受検票の送付	令和5年6月中旬 ・6月中旬を過ぎても受検票が届かない場合は、当協会までお問い合わせください。
試験実施	試験の日時・場所は、受検票に記載し通知します。 ・4、5ページ、「4 実施職種（作業）及び実施日」を参照願います。
実技試験	令和5年6月6日（火）～令和5年9月10日（日） ・3級は、金属熱処理を除き8月13日（日）までに実施します。
学科試験	令和5年7月9日（日）、8月20日（日）、8月27日（日）、9月3日（日）
合格発表	令和5年8月25日（金）、金属熱処理を除く3級の職種 令和5年9月29日（金）、上記以外の職種 ・7ページ、「7 合格発表及び合格通知等」を参照願います。

2 受検手数料

受検級	年齢・在職・在校区分（◎印が国・○印が県による減免対象）			受検手数料		
				実技試験	学科試験	計
特級・1級・単一等級	全年齢			18,200円	3,100円	21,300円
2級	25歳以上			18,200円	3,100円	21,300円
	25歳未満	在職者 注) 3 ◎		9,200円	3,100円	12,300円
		非在職者	在校生 注) 5 ○	9,200円	3,100円	12,300円
			非在校生	18,200円	3,100円	21,300円
3級	25歳以上		在校生	12,100円	3,100円	15,200円
			非在校生	18,200円	3,100円	21,300円
	25歳未満	在職者 注) 3	在校生 ◎	3,100円	3,100円	6,200円
			非在校生 ◎	9,200円	3,100円	12,300円
		非在職者	在校生 注) 5 ○	3,100円	3,100円	6,200円
非在校生	18,200円		3,100円	21,300円		

注) 1 「25歳未満の方」とは、次のいずれにも該当する方です。

- 実技試験を実施する日が属する年度の4月1日において25歳に達していない方
令和5年（2023年）4月1日において25歳に達していない方（平成10年（1998年）4月2日以降に生まれた方）
※申請時に、本人確認書類（運転免許証、学生証等の写し等）を必ず添付してください。

- 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）別表第1の上欄の在留資格を持って在留する者以外の方

注) 2 「25歳以上の方」とは、注) 1 以外の方です。

注) 3 「在職者」とは、受検申請日において雇用保険法（昭和49年法律第116号）第4条第1項に規定する被保険者の方です。個人事業主の方は雇用保険の被保険者ではありません。（25歳未満であっても減免対象とはなりません。）
なお、確認のため、所属企業の在職証明等の提出を求める場合があります。

注) 4 「在校生」とは、次のいずれかに該当する方です。

- 職業能力開発促進法（昭和44年法律第64号）に規定する公共職業能力開発施設、職業能力開発総合大学校の訓練生又は認定職業訓練施設の訓練生。ただし、短期課程の普通職業訓練又は専門短期課程若しくは応用短期課程の高度職業訓練を受けている方その他知事が別に定める方を除く。
- 学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する高等学校又は中等教育学校の後期課程、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校若しくは各種学校の生徒又は学生。

注) 5 長野県在住又は長野県内の学校等の在校生が対象となります。（県外の学校等の在校生の方は対象外となるため2級実技試験の受検手数料は18,200円、3級実技試験の受検手数料は12,100円となります。）

注) 6 技能五輪長野県地方大会（予選会）に参加する方の参加手数料は11ページを参照してください。

注) 7 受検手数料は、申請書を受理した後は、受検をしない（試験に欠席する）場合でも、返金を致しませんので、ご承知おき願います。ただし、新型コロナウイルス感染症の流行拡大の影響で、技能検定が中止となった場合は受検手数料はお返しいたします。

4 実施職種(作業)及び実施日

1・2級

職種 番号	職 種 名	作業 番号	作 業 名	実技試験			学科 試験	備考
				製作等 作業試験	判断等試験	計画立案等 作業試験		
062	造 園	010	造 園 工 事	後日決定	後日決定	－	8/20 AM	
003	鑄 造	010	鑄 鉄 鑄 物 鑄 造	後日決定	－	－	9/3 AM	
005	金 属 熱 処 理	010	一 般 熱 処 理	1級 後日決定	2級 8/27	8/20 PM	8/20 AM	
		020	浸炭・浸炭窒化・窒化处理	1級 後日決定	2級 8/27	8/20 PM	8/20 AM	
		030	高周波・炎熱処理	1級 後日決定	2級 8/27	8/20 PM	8/20 AM	
006	機 械 加 工	010	◎普 通 旋 盤	後日決定	－	－	8/27 AM	
		200	数 値 制 御 旋 盤	後日決定	－	8/27 PM	8/27 AM	※ 2
		040	◎フ ラ イ ス 盤	後日決定	－	－	8/27 AM	
		210	数値制御フライス盤	後日決定	－	8/27 PM	8/27 AM	※ 2 ※ 3
		120	平 面 研 削 盤	後日決定	－	－	8/27 AM	※ 2
183	非 接 触 除 去 加 工	020	数値制御形彫り放電加工	後日決定	－	1級 9/3 PM	9/3 AM	※ 2
		030	ワ イ ヤ 放 電 加 工	後日決定	－	1級 9/3 PM	9/3 AM	※ 2
008	鉄 工	020	◎構 造 物 鉄 工	後日決定	－	－	8/27 AM	※ 4
122	建 築 板 金	010	内 外 装 板 金	後日決定	－	－	9/3 PM	
010	め っ き	020	ダ ク ト 板 金	後日決定	－	－	9/3 PM	
		010	電 気 め っ き	後日決定	－	－	8/27 AM	定員数有り
012	仕 上 げ	010	治 工 具 仕 上 げ	後日決定	－	－	9/3 AM	
		020	金 型 仕 上 げ	後日決定	－	－	9/3 AM	
		030	◎機 械 組 立 仕 上 げ	後日決定	－	－	9/3 AM	
015	電 子 機 器 組 立 て	010	◎電 子 機 器 組 立 て	後日決定	－	－	8/27 PM	
016	電 気 機 器 組 立 て	030	◎配電盤・制御盤組立て	後日決定	－	－	9/3 AM	
166	産 業 車 両 整 備	010	産 業 車 両 整 備	後日決定	－	－	8/20 PM	
160	鉄 道 車 両 製 造 ・ 整 備	020	内 部 ぎ 装	後日決定	－	－	9/3 AM	
		030	配 管 ぎ 装	後日決定	－	－	9/3 AM	
		040	電 気 ぎ 装	後日決定	－	1級 9/3 PM	9/3 AM	
148	光 学 機 器 製 造	010	光 学 ガ ラ ス 研 磨	後日決定	－	－	8/20 PM	
068	建 設 機 械 整 備	010	建 設 機 械 整 備	後日決定	－	8/27 PM	8/27 AM	定員数有り※ 5
124	家 具 製 作	010	◎家 具 手 加 工	後日決定	－	－	8/27 PM	
125	建 具 製 作	010	◎木 製 建 具 手 加 工	後日決定	－	－	8/27 PM	
035	印 刷	020	オ フ セ ッ ト 印 刷	後日決定	－	－	8/27 PM	※ 2
037	プ ラ ス チ ッ ク 成 形	010	圧 縮 成 形	後日決定	－	－	8/20 PM	
		020	射 出 成 形	後日決定	－	－	8/20 PM	定員数有り※ 1
150	石 材 施 工	020	石 張 り	後日決定	－	－	9/3 AM	
073	酒 造	010	清 酒 製 造	後日決定	－	－	9/3 PM	
040	と び	010	◎と び	後日決定	－	－	8/20 PM	
041	左 官	010	◎左 官	後日決定	－	－	8/27 PM	定員数有り
043	ブ ロ ッ ク 建 築	010	コンクリートブロック工事	後日決定	－	－	9/3 PM	
044	タ イ ル 張 り	010	◎タ イ ル 張 り	後日決定	－	－	9/3 AM	
045	畳 製 作	010	畳 製 作	後日決定	－	－	8/27 PM	
086	防 水 施 工	020	ウレタンゴム系塗膜防水工事	後日決定	－	－	8/20 PM	※ 1
		070	シーリング防水工事	後日決定	－	－	8/20 PM	※ 1
		110	改質アスファルトシート常温 粘着工法防水工事	後日決定	－	－	8/20 PM	※ 1
		100	F R P 防 水 工 事	後日決定	－	－	8/20 PM	※ 1
152	内 装 仕 上 げ 施 工	010	プラスチック系床仕上げ工事	後日決定	－	－	8/27 AM	
		030	銅 製 下 地 工 事	後日決定	－	－	8/27 AM	※ 6
		040	ボ ー ド 仕 上 げ 工 事	後日決定	－	－	8/27 AM	
		070	化粧フィルム工事	後日決定	－	－	8/27 AM	
049	熱 絶 縁 施 工	010	保 温 保 冷 工 事	後日決定	－	－	9/3 AM	
056	化 学 分 析	010	化 学 分 析	8/27	－	1級 8/20 PM	8/20 AM	
059	表 装	020	壁 装	後日決定	－	－	9/3 AM	
060	塗 装	020	建 築 塗 装	後日決定	－	－	8/20 AM	
		030	金 属 塗 装	後日決定	－	－	8/20 AM	定員数有り
119	フ ラ ワ ー 装 飾	010	◎フ ラ ワ ー 装 飾	後日決定	－	－	9/3 PM	※ 7
	33 職 種		54 作 業					

単一等級

職種 番号	職 種 名	作業 番号	作 業 名	実技試験			学科 試験	備考
				製作等 作業試験	判断等試験	計画立案等 作業試験		
144	路 面 標 示 施 工	010	溶融 ^ペ イントハンドマーカ-工事	後日決定	—	—	9 / 3 PM	
		020	加熱 ^ペ イントマシンマーカ-工事	後日決定	—	—	9 / 3 PM	※ 8
111	塗 料 調 色	010	調 色	後日決定	後日決定	—	9 / 3 PM	定員数有り
	2 職 種		3 作 業					

3 級

職種 番号	職 種 名	作業 番号	作 業 名	実技試験			学科 試験	備考
				製作等 作業試験	判断等試験	計画立案等 作業試験		
062	造 園	010	造 園 工 事	後日決定	後日決定	—	7 / 9 PM	
005	金 属 熱 処 理	010	一 般 熱 処 理	—	8 / 27	8 / 20 PM	8 / 20 AM	
		020	浸炭・浸炭窒化・窒化処理	—	8 / 27	8 / 20 PM	8 / 20 AM	
		030	高周波・炎熱処理	—	8 / 27	8 / 20 PM	8 / 20 AM	
006	機 械 加 工	010	普 通 旋 盤	後日決定	—	—	7 / 9 AM	
		200	数 値 制 御 旋 盤	後日決定	—	—	7 / 9 AM	※ 2
		040	フ ラ イ ス 盤	後日決定	—	—	7 / 9 AM	
		120	平 面 研 削 盤	後日決定	—	—	7 / 9 AM	※ 2
010	め っ き	010	電 気 め っ き	後日決定	—	—	7 / 9 PM	定員数有り
012	仕 上 げ	030	機 械 組 立 仕 上 げ	後日決定	—	—	7 / 9 PM	
013	機 械 検 査	010	機 械 検 査	後日決定	—	—	7 / 9 PM	
015	電 子 機 器 組 立 て	010	電 子 機 器 組 立 て	後日決定	—	—	7 / 9 AM	
184	シ ー ケ ン ス 制 御	010	シ ー ケ ン ス 制 御				7 / 9 PM	学科のみ実施
038	建 築 大 工	010	大 工 工 事				7 / 9 PM	学科のみ実施
056	化 学 分 析	010	化 学 分 析	後日決定	—	—	7 / 9 AM	
119	フ ラ ワ ー 装 飾	010	フ ラ ワ ー 装 飾	後日決定	—	—	7 / 9 PM	
	11 職 種		16 作 業					

- この技能検定は、長野県技能競技大会を兼ねています。また、◎印の作業は技能五輪長野県地方大会（予選会）も合わせて兼ねています。2級の技能検定申請者で技能五輪へ参加を希望される方は、「技能五輪長野県地方大会参加申請書」（黄色申請書）で受検申請書を提出してください。（この申請書により2級の技能検定の受検を申請したことになります。）
詳細は11ページ：「14 技能五輪長野県地方大会（予選会）」の項を参照願います。
- 備考欄※「定員数有り」の作業の実技試験受検者定員は、以下となっています。
電気めっき作業（1級・2級合計：概ね80名、3級：概ね20名）、建設機械整備作業（1級：15名、2級：30名）、射出成形作業（1級・2級合計：概ね200名）、左官作業（1級・2級合計：8名）、金属塗装作業（1級：12名、2級：12名）、調色作業（12名）
- 備考欄※1印 のプラスチック成形職種（射出成形作業）、防水施工職種（4作業）の実技試験については、長野県在住又は在勤の方のみを対象とし、県外からの受検はできません。
- 備考欄※2印 の実技作業は、実技試験用機械設備の関係で受検者の所属事業主が、その事業所の設備の提供及び補佐員派遣を了解している方に限り、申請を受理しますが実技試験会場は長野県内のみとさせていただきます。
- 備考欄※3印 の数値制御フライス盤作業において、支給材料の材質は長野県では「鋳鉄」を使用します。
- 備考欄※4印 の構造物鉄工作業の実技試験申請者は、労働安全衛生法第61条第1項に基づくガス溶接作業主任者免許証、ガス溶接技能講習修了証の原本及び、労働安全衛生法第59条第3項に基づくアーク溶接等の作業の安全または衛生のための特別の教育を終了した証明書等の原本若しくは写しを試験当日提示してください。
- 備考欄※5印 の建設機械整備作業の実技試験申請者は、労働安全衛生法第61条第1項に基づくガス溶接作業主任者免許証、ガス溶接技能講習修了証等の資格証の原本を試験当日提示してください。
- 備考欄※6印 の鋼製下地工事作業の実技試験申請者は、労働安全衛生法第59条第3項に基づく研削といし（高速といし）の取替え等の作業に関し、安全または衛生のための特別の教育を終了した証明証等の写しを試験当日提示してください。
- 備考欄※7印 のフラワー装飾作業の2級実技試験申請者は、実技試験課題3のAコース（ブライダルブーケの製作作業）、Bコース（籠花（スタンド花）の製作作業）のいずれかを選択して申請書の選択コース欄に記入してください。
- 備考欄※8印 の加熱ペイントマシンマーカ-工事の実技試験申請者は、道路交通法第84条に基づく自動車運転免許証の原本を試験当日提示してください。
- 同時に2作業以上受検申請する場合は、事前に受検が可能かどうか、当協会にお問い合わせのうえ申請してください。
- 受検者が著しく多い場合は、試験会場の設備等の関係から受付期間中であっても受付を終了する場合があります。
また、受検者が著しく少ない場合は、実技試験の実施を取りやめることがあります。
なお、ご希望の方には、近県の公示状況をお知らせしますので、当協会にお問い合わせください。
- 実技試験及び学科試験両方免除（受検区分D）で受検資格がある場合は、上記の職種（作業）以外の職種（作業）についても受け付け期間内において受検申請ができますので、当協会にお問い合わせください。
- 特別の配慮を必要とする障がい者の方が受検申請をする場合は、受検申請時に当協会にご連絡ください。
- 令和5年度（前期）技能検定学科試験、実技試験（判断等試験及び計画立案等作業試験）における関係法令、JIS等の各種規格等の記載に基づく出題については、原則として、令和4年10月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。ただし、職種（作業）ごとに、実作業の現場における普及状況等を勘案し、一般的に使用されている従前の施行内容に基づく場合もあります。

5 受検申請の手続き

(1) 申請書類

ア) 受検申請書……受検したい等級の申請用紙に、必要事項を「17 申請書記入例」(14ページ～)を参照のうえ、※印以外の全項目について記入してください。

(1 級を受検の際、2 級の申請書に記入した場合等は、受付できません。)

申請書は12ページの各職業能力開発施設にて配布しています。

イ) 本人確認書類……本人確認書類のコピーを受検申請書右下にノリ付けしてください。(16ページの(16)項を参照)

ウ) 顔写真……申込前 3 ヶ月以内に撮影したもの(運転免許証写真サイズから 5 cm× 4 cmまでの大きさの写真の裏側に氏名、職種、級別を記入したもの。モノクロでも可) 2 枚を受検申請書にノリ付けしてください。

(実技と学科を両方とも同時に免除(受検区分D)で受検申請をする場合に限り、写真は不要です。)

エ) 免除証明書……実技試験又は学科試験の免除を受けようとする者は、申請書にその資格を記入するとともに、証明する証書のコピーを必ず申請書に添付してください。(ノリ付けはしないでください。)

オ) 申請書添付用領収書……受検手数料を銀行振込みし、添付用領収書を申請書にノリ付けしてください。

(この添付用領収書のないとき、又は、この領収書に銀行領収印のない場合は、申請受け付けできません。)

受検手数料の納入方法

○銀行振込……当協会専用の振込み用紙に所定事項を記入したうえ、八十二銀行県庁内支店(普通口座 No.76406)あてに受検手数料を振込みしてください。

カ) 受検者名簿……受検手数料を 2 人以上まとめて、銀行振込みをする場合は明細を記入した「受検者名簿」を添付してください。

(2) 書類の提出

受検申請書類は、原則として郵送により受け付けます。

封筒の表面に「技能検定受検申請書在中」と朱書きし、書留により下記宛てに送付してください。

〒380-0836 長野市大字南長野南県町688-2
長野県職業能力開発協会

やむを得ず持参する場合は、予めご連絡ください。

6 受検票の送付

(1) 申請書を受理した後、試験日時、試験会場を記載した受検票を 6 月中旬頃に受検申請書にご記入の現住所に送付しますので、住所の変更などがあった場合は20ページの連絡書によりご連絡をお願いします。

なお、6 月中旬を過ぎても、受検票が届かない場合は当協会までお問い合わせください。

(2) 実技試験を申請した方には、実技試験問題(公表するものに限る。)を受検票と同時に送付します。

この問題は試験当日使用するものです。事前書込みの可否については、試験問題の注意事項をお読みください。

7 合格発表及び合格通知等

(1) 合格発表

金属熱処理を除く3級は、令和5年8月25日（金）、それ以外の職種については、令和5年9月29日（金）、長野県ホームページに合格者の受検番号を掲載いたします。

- ・長野県ホームページ
合格発表のURL及びQRコードは右記参照してください。



〈<https://goo.gl/1tdqsm>〉

(2) 合格通知

技能検定合格者（学科、実技両方合格者：技能士になる方）には長野県産業労働部産業人材育成課から、学科試験又は実技試験いずれか一方のみの合格者には、当協会から通知します。

（不合格の方には通知はいたしません。）

なお、特級については、実技試験又は学科試験いずれか一方のみに合格した方は、合格日より5年間に行われる同一職種に係る特級の技能検定において、合格した実技試験又は学科試験が免除になります。

1級、2級、3級、単一等級については現在のところ免除の有効年数制限はありません。

(3) 合格証書・技能士章

技能検定合格者（技能士になる方）には、長野県産業労働部産業人材育成課〔電話026-235-7202〕から、合格証書及び技能士章を送付します。

なお、送付の時期については、合格通知に併せて記載し、お知らせします。

《合格証書等の事業所あて送付について》

- ご希望に応じて、各個人の合格証等を、所属企業・団体等の事業所へまとめて送付します。

ご希望の場合は、令和5年4月14日（金）までに、対象受検者名簿、送付先（企業・事務所の名称、郵便番号、住所、電話番号、担当者名）を郵送、ファクシミリ送信、又は電子メールによりお知らせください。郵送の場合、申請書と同封でもかまいません。エクセルファイルをご希望の場合は下記アドレスにご連絡ください。折り返し送信させていただきます。

- ・郵送：〒380-0836 長野市大字南長野南県町688-2 長野県職業能力開発協会
- ・FAX：026-234-9280
- ・電子メール：nougainagano@navada.or.jp

- この申し込みがない場合、合格証書等はすべて合格者本人宛に送付します。

8 試験問題の公開

学科試験問題及び中央職業能力開発協会が、公開を認めた統一実施実技問題については、試験終了後に公開となり受検者の持ち帰りが可能です。

また、受検者以外の方についても、試験終了後、当協会において1年間公開します。

9 正解の公開

学科試験及び統一実施実技問題の正解については、中央職業能力開発協会が公表したものに限り、試験実施翌日（職種によっては実施期間終了後）から1年間当協会でご覧が可能です。

また、原則として試験実施の翌日15時以降に中央職業能力開発協会のホームページに学科・計画立案等作業試験の試験正解が掲載されます。 <URL： <https://www.javada.or.jp>>

10 自己情報の開示

受検者本人の請求により、合格発表日から1年間に限り、技能検定の結果（学科得点及び実技得点に限ります）を知ることができます。

技能検定結果の開示を希望する方は、長野県庁行政情報センターもしくは、最寄の地域振興局行政情報コーナーを通じて開示の手続きを行ってください。

11 表彰

この技能検定は、長野県技能競技大会（特級を除く）を兼ねており、長野県内に在住、又は長野県内の事業所・職業訓練施設・学校等に所属している技能検定合格者（学科、実技両方合格者）のうち実技試験成績優秀者は、職種別（作業別）・級別に長野県知事又は長野県職業能力開発協会長から表彰されます。

12 受検資格

実務経験年数とは、修了証書、合格証書等の交付年月、あるいは該当実務に従事を開始した年月を起算日とし、申請書受付最終日現在までの検定職種に係る実務経験年数をいいます。

(単位 年)

受 検 対 象 者 (区 分) ※ 1	特 級	1 級		2 級		3 級	単一等級				
	1 級の技能検定に合格後の実務経験（1 級 の合格証書の複写を添付すること）	1 級の技能検定の受検に必要な実務の経験年数	2 級の技能検定に合格後の実務経験	3 級の技能検定に合格後の実務経験	2 級の技能検定の受検に必要な実務の経験年数	3 級の技能検定に合格後の実務経験	3 級の技能検定の受検に必要な実務の経験年数（※ 7）	単一等級の技能検定の受検に必要な実務の経験年数			
実務経験のみ	5	7	2	4	2	0	0 ※ 8	3			
専門高校卒業 ※ 2 専修学校（大学入学資格付与課程に限る）卒業		6			0		0	1			
短大・高専・高校専攻科卒業 ※ 2 専門職大学前期課程修了 専修学校（大学編入資格付与課程に限る）卒業		5			0		0	0			
大学卒業（専門職大学前期課程修了者を除く）※ 2 専修学校（大学院入学資格付与課程に限る）卒業		4			0		0	0			
専修学校 ※ 3 又は各種学校卒業 （厚生労働大臣が指定のものに限る）		800時間以上			6		0	0 ※ 9	1		
		1,600時間以上			5		0	0 ※ 9	1		
		3,200時間以上			4		0	0 ※ 9	0		
短期課程の 普通職業訓練修了 ※ 4 ※ 10		700時間以上			6		0	0 ※ 6	1		
普通課程の 普通職業訓練修了 ※ 4 ※ 10		2,800時間未満			5		0	0	1		
		2,800時間以上			4		0	0	0		
専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練修了 ※ 4 ※ 10					3		1	2	0	0	0
応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練修了 ※ 10					1		0	0	0	0	
長期課程又は短期養成課程の指導員訓練修了 ※ 10					1 ※ 5		0 ※ 5	0	0	0	
職業訓練指導員免許取得					1		—	—	—	0	
長期養成課程の指導員訓練修了 ※ 10			0		—	—	—	0			

注) ※ 1 : 検定職種に関する学科、訓練科又は免許職種に限る。(10ページ 別表参照)

※ 2 : 学校教育法による大学、短期大学又は高等学校と同等以上と認められる外国の学校又は他法令学校を卒業した者は学校教育法に基づくそれぞれのものに準ずる。

※ 3 : 大学入学資格付与課程、大学編入資格付与課程及び大学院入学資格付与課程の専修学校を除く。

※ 4 : 職業訓練法の一部を改正する法律(昭和53年法律第40号)の施行前に、改正前の職業訓練法に基づく高等訓練課程又は特別高等訓練課程の養成訓練を修了した者は、それぞれ改正後の職業能力開発促進法に基づく普通課程の普通職業訓練又は専門課程の高度職業訓練を修了したものとみなす。また、職業能力開発促進法の一部を改正する法律(平成4年法律第67号)の施行前に、改正前の職業能力開発促進法に基づく専門課程の養成訓練を修了した者は、専門課程の高度職業訓練を修了したものとみなし、改正前の職業能力開発促進法に基づく普通課程の養成訓練又は職業転換課程の能力再開発訓練(いずれも800時間以上のものに限る。)を修了した者はそれぞれ改正後の職業能力開発促進法に基づく普通課程又は短期課程の普通職業訓練を修了したものとみなす。

※ 5 : 短期養成課程の指導員訓練のうち、実務経験者訓練技法習得コースの修了者については、訓練終了後に行われる能力審査(職業訓練指導員試験に合格した者と同等以上の能力を有すると職業能力開発総合大学校の長が認める審査)に合格しているものに限る。

※ 6 : 総訓練時間が700時間未満のものを含む。

※ 7 : 3級技能検定については、上記のほか、検定職種に関する学科に在学する者及び検定職種に関する訓練科において職業訓練を受けている者も受検できる。(申請書の在学期間又は訓練期間欄の在学中、訓練中に○印を記入)

また、工業高等学校に在学する者等であって、かつ、工業高等学校の教員等による検定職種に係る講習を受講し、当該講習の責任者から技能検定受検に際して安全衛生上の問題がないと判定された場合も受検できるので、所定の「確認書」の写し及び判定者の資格を裏付けするものの写しを申請書に添付すること。

※ 8 : 検定職種に関し実務の経験を有する者について、受検資格を認めることとする。

※ 9 : 当該学校が厚生労働大臣の指定を受けたものであるか否かに関わらず、受検資格を付与する。

※ 10 : 職業能力開発促進法第92条に規定する職業訓練又は指導員訓練に準ずる訓練の修了者においても、修了した職業訓練又は指導員訓練の訓練課程に応じ、受検資格を付与する。

その他 下位等級合格後の実務経験年数で受検をする場合は、その証明となる合格証書のコピーを必ず添付すること。

13 試験の免除資格

試験の免除資格は、下表のとおりです。この免除資格を持っている方は、受検申請の際その資格を証明する書類のコピーを添付して試験の免除申請をしてください。（受付期間後に免除申請の申し出をしても受け付けられません。）

保有している資格		免除の対象となる試験	免除に該当する検定職種・作業	免除の等級	備考
技能検定に合格した方 (技能士の資格あり)	1 級	同一の「検定職種」	同一の「検定職種」	1 級・2 級・3 級	例) 1 級の普通旋盤作業技能検定に合格されている方は(技能士となっている)1 級のフライス盤作業を受検する場合の学科試験は免除となる。
	2 級			2 級・3 級	
	3 級			3 級	
	単一等級			単一等級	
技能検定において、 学科試験に合格した方	特級	同一の「検定職種」	同一の「検定職種」	特級	免除が受けられる期間は合格日より5年間
	1 級			1 級・2 級・3 級	
	2 級			2 級・3 級	
	3 級			3 級	
指導員試験に合格した方、又は指導員免許を取得した方	単一等級	同一の「検定作業」	同一の「検定作業」	単一等級	合格した学科試験と同一の科目(同一の「作業」)を選択する場合に限る。
	特級			特級	
	1 級			1 級・2 級・3 級	
	2 級			2 級・3 級	
普通課程の普通職業訓練において技能照査に合格した方 ※1	技能照査合格後実務経験0年	相当する検定職種	相当する検定職種	1 級・2 級・3 級・単一等級	10ページ別表参照
	技能照査合格後実務経験2年以上(2800H以上は1年)			2 級・3 級	
	技能照査合格後実務経験4年以上			2 級・3 級・単一等級	
	技能照査合格後実務経験5年以上			2 級・3 級	
専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練において技能照査に合格した方 ※1	技能照査合格後実務経験0年	相当する検定職種	相当する検定職種	2 級・3 級	合格した実技試験と同一の科目(同一の「作業」)を選択する場合に限る。
	技能照査合格後実務経験1年以上			2 級・3 級・単一等級	
	技能照査合格後実務経験2年以上			1 級・2 級・3 級・単一等級	
	技能照査合格後実務経験3年以上			2 級・3 級・単一等級	
応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練において技能照査に合格した方 ※1	技能照査合格後実務経験0年	相当する検定職種	相当する検定職種	2 級・3 級・単一等級	有効期限を過ぎた技能証でも有効
	技能照査合格後実務経験2年以上			1 級・2 級・3 級・単一等級	
	技能照査合格後実務経験4年以上			特級・1 級・2 級・3 級・単一等級	
	技能照査合格後実務経験5年以上			2 級・3 級	
短期課程の普通職業訓練において(通信訓練)修了時試験に合格して修了した方 ※1	1 級技能士コース	相当する検定職種	相当する検定職種	1 級・2 級・3 級	委嘱された試験科目(同一の「作業」)を選択する場合に限る。
	2 級技能士コース			2 級・3 級	
	単一等級技能士コース			単一等級	
	単一等級技能士コース			単一等級	
製菓衛生師法による製菓衛生師試験に合格した方			菓子製造職種	1 級・2 級	学科試験のうちの食品一般及び菓子一般
建築士法による1 級建築士試験若しくは2 級建築士試験に合格した方又は1 級建築士若しくは2 級建築士の免許を受けた方			建築大工職種	1 級・2 級	合格した実技試験と同一の科目(同一の「作業」)を選択する場合に限る。
建築士法による木造建築士試験に合格した方又は木造建築士の免許を保有する方			ブロック建築職種	1 級・2 級	
建築士法による木造建築士試験に合格した方又は木造建築士の免許を保有する方			枠組壁建築職種	単一等級	
建築士法による木造建築士試験に合格した方又は木造建築士の免許を保有する方			建築大工職種	1 級・2 級	
全国障害者技能競技大会学科部門の技能証を保有する方			枠組壁建築職種	単一等級	合格した実技試験と同一の科目(同一の「作業」)を選択する場合に限る。
中央技能検定委員を2年以上経験した方			相当する検定職種	2 級・3 級	
中央技能検定委員を2年以上経験した方			同一の検定職種	1 級・2 級・3 級・単一等級	
中央技能検定委員を2年以上経験した方			同一の検定職種	1 級・2 級・3 級・単一等級	
技能検定において、 実技試験に合格した方	特級	同一の「検定職種」	同一の「検定職種」	特級	免除が受けられる期間は合格日より5年間
	1 級			1 級・2 級・3 級	
	2 級			2 級・3 級	
	3 級			3 級	
技能五輪全国大会における技能証を保有する方	単一等級	同一の「検定作業」	同一の「検定作業」	単一等級	合格した実技試験と同一の科目(同一の「作業」)を選択する場合に限る。
	特級			特級	
	1 級			1 級・2 級・3 級	
	2 級			2 級・3 級	
技能五輪地方大会(予選会)における技能証を保有する方 *有効期限を過ぎた技能証でも有効	3 級	相当する検定職種	相当する検定職種	3 級	合格した実技試験と同一の科目(同一の「作業」)を選択する場合に限る。
	単一等級			単一等級	
	特級			特級	
	1 級			1 級・2 級・3 級	
全国障害者技能競技大会実技部門の技能証を保有する方 *有効期限を過ぎた技能証でも有効	2 級	相当する検定職種	相当する検定職種	2 級・3 級	合格した実技試験と同一の科目(同一の「作業」)を選択する場合に限る。
	3 級			3 級	
	単一等級			単一等級	
	特級			特級	
中央技能検定委員を2年以上経験した方			相当する検定職種	1 級・2 級・3 級・単一等級	合格した実技試験と同一の科目(同一の「作業」)を選択する場合に限る。
都道府県技能検定委員又は指定事業主団体技能検定委員を2年以上経験した方			相当する検定職種	1 級・2 級・3 級・単一等級	合格した実技試験と同一の科目(同一の「作業」)を選択する場合に限る。
東京商工会議所が行う和裁に関する技能検定に合格した方	1 級	和裁職種	和裁職種	1 級・2 級	
	2 級			2 級	

※1：職業能力開発促進法第92条に規定する職業訓練に準ずる訓練における技能照査又は修了時試験の合格者においても、技能照査又は修了時試験に合格した職業訓練の訓練課程に応じて、試験を免除する。

※免除資格について不明な点は、当協会までお問い合わせください。

別表

受検資格に関する卒業関連学科・訓練科、指導員免許職種は次のとおりです。

検定職種	学科・訓練科の例 ※	指導員免許職種
造 園	造園科	造園科、森林環境保全科
鋳 造	や金科、金属工学科、機械科	鋳造科
金 属 熱 処 理	や金科、金属工学科、機械科	熱処理科
機 械 加 工	機械科	機械科
非 接 触 除 去 加 工	機械科	機械科
鉄 工	金属工学科、機械科、造船科、建築科 土木科	塑性加工科、構造物鉄工科、鉄道車両科 造船科
建 築 板 金	機械科、建築科	塑性加工科、建築板金科
め つ き	金属工学科、工業化学科、化学工学科	金属表面処理科
仕 上 げ	機械科	機械科
機 械 検 査	機械科	機械科
電 子 機 器 組 立 て	電子科、電気科	電子科
電 気 機 器 組 立 て	電子科、電気科	電気科、メカトロニクス科
シ ー ケ ン ス 制 御	電子科、電気科	電気科、メカトロニクス科
産 業 車 両 整 備	機械科	(該当なし)
鉄道車両製造・整備	機械科、電気科、造船科、自動車科	鉄道車両科
光 学 機 器 製 造	機械科、物理学科	光学ガラス科、光学機器科
建 設 機 械 整 備	機械科	建設機械科
家 具 製 作	工芸科	木工科
建 具 製 作	建築科、工芸科	木工科
印 刷	印刷科	製版・印刷科
プラスチック成形	機械科、電気科、工業化学科	プラスチック製品科
石 材 施 工	建築科、土木科	石材科
酒 造	発酵科	発酵科
と び	建築科	とび科
左 官	建築科	左官・タイル科
ブ ロ ッ ク 建 築	建築科	ブロック建築科
タ イ ル 張 り	建築科	左官・タイル科
畳 製 作	(該当なし)	畳科
建 築 大 工	建築科、大工科	建築科、枠組壁建築科
防 水 施 工	建築科	防水科
内 装 仕 上 げ 施 工	建築科	床仕上げ科、インテリア科
熱 絶 縁 施 工	設備科、造船科、建築科、工業化学科 化学工学科	熱絶縁科
化 学 分 析	工業化学科、化学工学科、農芸化学科	化学分析科、公害検査科
表 装	工芸科	インテリア科、表具科
塗 装	建築科、工芸科、塗装科	塗装科
フ ラ ワ ー 装 飾	園芸科、フラワーデザイン科 フラワービジネス科	フラワー装飾科
路 面 標 示 施 工	塗装科	(該当なし)
塗 料 調 色	塗装科	塗装科

※ 詳細については、当協会までお問い合わせください。

14 技能五輪長野県地方大会（予選会）

技能五輪全国大会とは、青年技能者の技能水準を高めるとともに、技能者の社会的評価の向上を目的に、各都道府県の地方大会等から選抜された各職種の選手により技能を競う大会であり、毎年開催されています。

技能五輪長野県地方大会は、技能五輪全国大会に派遣する選手を選抜する予選会として技能検定実技試験と同時に実施し、優秀な成績を収めた者の中から、全国大会に参加する者を長野県職業能力開発協会長が推薦します。

(1) 競技職種及び参加料

ア) 今回の技能五輪長野県地方大会（予選会）を実施する職種は次のとおりです。

イ) 競技課題は2級技能検定の実技試験課題を使用します。

ウ) 新規・継続参加に関わらず参加希望者は、全員 技能五輪長野県地方大会（予選会）に参加して頂き、その中から成績優秀者を全国大会に推薦します。

長野県地方大会競技職種	全国大会競技職種	参加手数料	
		在職者*、在校生	左記以外の方
普通旋盤作業	旋盤	9,200円	18,200円
フライス盤作業	フライス盤		
精密器具製作作業	精密機器組立て		
構造物鉄工作業	構造物鉄工		
機械組立仕上げ作業	機械組立て		
電子機器組立て作業	電子機器組立て		
配電盤・制御盤組立て作業	工場電気設備		
家具手加工作業	家具		
木製建具手加工作業	建具		
とび作業	とび		
左官作業	左官		
タイル張り作業	タイル張り		
フラワー装飾作業	フラワー装飾		

*「在職者」については2ページの注)3を参照してください。

エ) フラワー装飾作業の実技試験課題3はAコース（ブライダルブーケの製作作業）にて競技を実施します。

オ) 上記表以外の職種に参加を希望される方は、当協会にお問い合わせ下さい。

(2) 参加資格

技能五輪長野県地方大会の参加資格は、8ページ：「12 受検資格」に関係なく平成12年（西暦2000年）1月1日以降に生まれた方で長野県内に在住、又は県内の事業所・職業訓練施設・学校等に所属しており、事業主（職業訓練施設長、学校長）の推薦のある方。

・所属事業所代表者の推薦の印

申請書の左下に所属事業所代表者の推薦の印を必要とします。

なお、技能五輪長野県地方大会参加（予選会）を申請される方で2級技能検定の受検資格のある方は、2級技能検定を兼ねて申請することができます。

（この場合学科を受検する方は、学科試験の手数料3,100円が必要です。）

(3) 受付期間

(4) 実施日程

(5) 問題公表及び場所

(6) 申請書の提出

『技能五輪長野県地方大会参加申請書』（黄色申請書）を提出してください。

なお、2級と合わせて申請する場合は、受検申請書の左上の「2級技能検定 兼 技能五輪」の□欄にレ印を記入してください。（6ページ：「5 受検申請の手続き」を参照願います。）

(7) 特典

上記競技職種の技能五輪長野県地方大会（予選会）のみの参加者において合格点以上の成績を収めた方に対しては、長野県職業能力開発協会長から技能証を交付します。（2級受検の際、実技試験が免除されます。）

(8) 表彰

技能五輪長野県地方大会（予選会）において成績優秀者は、各職種ごとに長野県知事又は長野県職業能力開発協会長から表彰されます。

15 受検申請書・受検案内書等の請求と問い合わせ先

- 長野県職業能力開発協会・検定課…………〒380-0836 長野市大字南長野南県町688-2
TEL 026-234-9050 FAX 026-234-9280
- 長野県産業労働部産業人材育成課…………〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2
TEL 026-235-7202 FAX 026-235-7328

・受検申請用紙等の郵送を希望する場合は、返信用A4封筒（1名分、切手140円を貼ったもの）を同封のうえ、職種、級別、電話番号を記載して、封筒の表面に「技能検定受検申請書用紙請求」と朱書きし、当協会に請求してください。

なお、次の各職業能力開発施設等においても、申請書等の書類を配布していますが、検定試験内容等の詳細につきましては、当協会にお問い合わせください。

施設名	郵便番号	住 所	電話番号
東信地区			
佐久技術専門学校	385-0042	佐久市高柳 346-4	0267-62-0549
佐久高等職業訓練校	385-0042	佐久市高柳 354-2	0267-62-2276
長野県工科短期大学校	386-1211	上田市下之郷 813-8	0268-39-1111
上田地域高等職業訓練センター	386-0027	上田市常磐城 1-3-20	0268-75-7690
坂城町中小企業能力開発学院	389-0601	埴科郡坂城町坂城 10051	0268-82-3351
北信地区			
長野技術専門学校	388-8011	長野市篠ノ井布施五明 3537	026-292-2341
ポリテクセンター長野	381-0043	長野市吉田 4-25-12	026-243-1001
長野共同高等職業訓練校	381-0022	長野市大豆島 4034	026-221-0505
長野地域職業訓練センター			
北信州能力開発センター	383-0013	中野市中野 1457-1	0269-23-3005
飯岳高等職業訓練校	389-2234	飯山市木島 662-1	0269-62-5301
中信地区			
松本技術専門学校	399-0011	松本市寿北 7-16-1	0263-58-3158
ポリテクセンター松本	399-0011	松本市寿北 7-17-1	0263-58-2905
松本市中小企業能力開発学院	390-8503	松本市中央 1-23-1	0263-32-5350
長野県建設訓練協会 建設職業訓練センター	390-0864	松本市宮渕本村 1-2 建労会館	0263-39-7200
大北高等職業訓練校	398-0002	大町市大町 1058-13	0261-22-2050
上松技術専門学校	399-5607	木曽郡上松町小川 3540	0264-52-3330
南信地区			
岡谷技術専門学校	394-0004	岡谷市神明町 2-1-36	0266-22-2165
長野県南信工科短期大学校	399-4511	上伊那郡南箕輪村 8304-190	0265-71-5051
駒ヶ根商工会議所	399-4191	駒ヶ根市上穂栄町 3-1	0265-82-4168
飯田技術専門学校	395-0823	飯田市松尾明 7508-3	0265-22-1067
飯田高等職業訓練校	395-0017	飯田市東新町 2-30	0265-23-5844

個人情報の保護について

当協会は、技能検定に関連して皆様より御提供いただいた個人情報について、個人情報保護に関する法令・規範を遵守し、慎重かつ適切に取り扱います。

1 個人情報の利用目的

技能検定に関して当協会が収集した個人情報については、長野県産業労働部産業人材育成課の指導・監督により、厚生労働省が「技能検定関係事務手続き」に定める業務に限定して利用いたします。

2 個人情報の共同利用について

当協会が保有する個人情報は、技能検定事業に協力する職業能力開発施設並びに関係業種団体等共同で利用する場合があります。

この場合は、共同利用先においても利用目的を限定し秘密保持などについて、適切な管理等を行います。

16 技能検定についてよくある質問

- (1) 実務経験年数の短縮要件として、大学や高校などの学校を卒業（在学）さえしていればよいですか？

【回答】受検する検定職種に関する学科を卒業していることが必要です。（10ページ別表参照）

- (2) 申請書の「職務内容」欄にはどのようなことを書けばいいのですか？

【回答】受検しようとする検定職種（作業）に関連した、現在のご自身の仕事の内容を記入してください。

例：受検職種（作業） 建設機械整備 → 職務内容は「機械整備」等
〃 数値制御旋盤 → 〃 「機械加工」等

- (3) 試験日、試験会場は決まっていますか？

【回答】・学科試験は4～5ページに記載の実施日程が決まっていますが、試験会場については後日受検票に記載してご連絡いたします。

・実技試験の日程及び試験会場につきましても、後日受検票に記載してご連絡いたします。

- (4) 過去に実技試験または学科試験に合格したが、合格通知を紛失した場合はどうしたらよいですか？

【回答】合格通知証を紛失しても免除資格は有効ですので、当協会にお問い合わせください。但し、長野県で受検申請を行った場合に限りです。

- (5) 過去に実技、学科共に一部合格になっています。技能検定合格となるにはどのような手続きが必要ですか？

【回答】技能検定合格となるには、改めて受付期間内に受検申請が必要です。

申請は、実技・学科試験の両方免除（受検区分D）で行ってください。なお、4～5ページの実施職種以外でも申請ができます。合格発表は2ページの合格発表日と同一です。

- (6) 過去に実技試験又は学科試験のいずれか合格しているが、有効期限はありますか？

【回答】特級は、合格発表日より5年間の有効期限がありますが、1級・2級・3級・単一等級については現在のところ期限はありません。

- (7) 技能士の合格証書を紛失してしまいました。再発行を受けたいがどのような手続きが必要ですか？

【回答】合格証書の再発行の手続きについては、長野県産業労働部産業人材育成課（TEL 026-235-7202）へお問い合わせください。また、長野県のホームページでも掲示しております。〈<https://goo.gl/fBzKPm>〉

- (8) 都合により受検申請をキャンセルしたいが、手数料は返還されますか？

【回答】受検申請書を受理した後は、受検手数料の返還はできません。

また、次回以降の受検申請に充当することもできませんので御了承願います。

- (9) 受検する作業名、受検区分、等級を間違えて申請してしまいましたが変更はできますか？

【回答】受検申請書を受理した後は、申請内容の変更はできません。

- (10) 受検票が届いたが、指定日は都合が悪いので試験日程の変更は可能ですか？

【回答】試験の日程変更はできませんので、試験当日来られない場合は、欠席とさせていただきます。

また、実技試験の場合、準備の都合もありますので欠席される場合は、事前に当協会にご連絡ください。

- (11) 受検申請後、氏名や住所が変更になったがどのような手続きが必要ですか？

【回答】「20 受検申請内容変更連絡書」（20ページ）に変更内容をご記入のうえ、当協会にFAXまたは郵送でご連絡ください。

- (12) 受検勉強のために何かよい参考書や問題集はありませんか？

【回答】19ページに試験問題集の内容及び申し込み書を掲載していますので、参考にしてください。

また、技能検定試験問題（公開用）の複写サービス（有料）を行っていますので、当協会のホームページを参照願います。〈URL：<http://www.navada.or.jp>〉

- (13) 受検前の講習会は実施していますか？

【回答】当協会では、技能検定に向けた事前講習及び事前教育は実施しておりませんので御了承願います。

- (14) 在職、在学については、いつ時点で判断すればよいですか？

【回答】在職、在学については、受検申請日の状況で判断します。

17 申請書記入例（左側）

※6 ページ、「5 受検申請の手続き」とあわせてご覧ください。

※申請書は本人が記入し申請してください。

※必ず「楷書」で記入してください。（略字は使用しないでください。）

※インキ、ボールペンで記入してください。（鉛筆、消えるボールペンは使用しないでください。）

(1) 受検申請日

長野県職業能力開発協会に提出（または送付）する日付（4月3日～4月14日）を記入してください。

(2) 減免対象の有無

本案内書により減免の対象となる条件を確認のうえ、対象となる方は「有」に、該当しない場合は「無」に○を付けてください。（2 ページ～3 ページ参照）

（※減免対象者は実技試験受検者で、実技試験実施日が属する年度の4月1日において25歳に達していない「在職者」（2 ページ注）3 参照）及び「在校生」（2 ページ注）4、注）5 参照）です。）

(3) 職種番号、作業番号、職種名、作業名

受検案内の4～5 ページ、「4 実施職種(作業)及び実施日」を参照し、正確に記入してください。

(4) 住所

- ・自宅の住所を記入してください。
- ・受検票等はこの住所に送付します。

(5) 連絡先電話番号

申請書の内容に不明な点がある場合や、試験に関する緊急の連絡がある場合等に、電話連絡をする場合がありますので、日中連絡ができる電話番号を記入してください。

(6) 学歴

- ・最近のものを一番上に記入してください。
- ・在学履歴の該当欄に○を付けてください。

(7) 訓練歴

- ・職業訓練歴は、最近のものを一番上に記入してください。
- ・訓練歴のある方は訓練履歴の該当欄に○を付けてください。
- ・技能照査合格で学科試験の免除申請をする場合は、必ず記入してください。

(8) 職歴

- ・現在のものから順に、職歴を記入してください。
- ・受検にあたり、実務経験が必要な場合は、職務内容の欄は、検定職種との関連がわかる仕事（業務）の内容を具体的に記入してください。（「一般職」、「営業」、「事務職」などは実務経験として認められません。）
- ・通算の実務経験年数が、受検に必要な年数を満たすか確認して記入してください。

(9) 1・2・3 級合格者

- ・下位等級合格後の実務経験年数で受検申請をする場合は、合格した職種名、作業名、合格年月日、技能士番号を正確に記入し、合格証書のコピーを必ず添付してください。
- ・特級の受検申請は必ず1 級の合格証書のコピーを添付してください。
- ・合格証書等の氏名と現在の氏名が異なる場合は、戸籍抄本を添付してください。

(10) 試験の免除

- ・試験の免除を受けることのできる記号を○で囲んで、資格の名称、取得年月日、合格通知番号を正確に記入してください。（例 合格通知番号：長野○○○○）
- ・証明書（合格通知ハガキ等）のコピーを必ず添付してください。
- ・合格証書等の氏名と現在の氏名が異なる場合は、戸籍抄本を添付してください。

記入漏れ等はありませんか？ 20ページのチェックシートでご確認ください。

(1) (左表)

2 級 技 能 検 定 申 請 書

(2) 長野県知事様
技能検定を受検したいので申請します。

令和 5 年 4 月 3 日

氏 名 信 州 太 郎

※印の欄は記入しないこと

職種番号	006	職種名	機 械 加 工	受 検 番 号	減免対象の有無 (注①)
作業番号	040	作業名	フライス盤 選択()	※	有 ・ 無
フリガナ	シンシュウ タロウ			昭和 (S) 平成 (H) 10 年 10 月 1 日	性 別 男 (M) 女 (F)
氏 名	信 州 太 郎			生年月日 (年 令)	(満 24 年 6 月)
住 所	〒380-0803			自宅電話 (026-△△△-0000) 携帯電話 (090-××××-××××)	

(4) 長野県長野市大字南長野0000職能ハイツ305

学 歴	学 校 名	学 科 又 は 課 程	所 在 地	在 学 履 歴
	長野西部高等学校	普通科	長野県長野市0000	在学中 ☐ 卒業 ☒ 中退 ☐ 全日制 ☒ 定時制・通信教育 ☐ 在学期間 H26 年 4 月 ~ H29 年 3 月
	訓練施設名	訓練科目	所在地	訓練履歴
				訓練中 ☐ 修了 ☐ 中退 ☐ 訓練期間 年 月 ~ 年 月 訓練期間 年 月 ~ 年 月
受 検 資 格 歴	事業所名	職務(作業)内容	所在地	在 職 期 間
	(現在の在職先) 長野機械加工(株)	フライス盤	〒(380-××××) 長野県長野市000町 電話(026-000-××××)	H29 年 4 月 ~ R5 年 4 月 (6 年 0 月)
				年 月 ~ 年 月 (年 月)
				年 月 ~ 年 月 (年 月)

3 級技能検定合格 (受検資格にかかわるものは必ず記入し、証書のコピーを添付してください)

(3 級)	職種(作業)	合格年月日	年 月 日	受検資格判定	※
		技能士番号	号		

資格の名称 (該当するものを○でかこむ)	取得地	取得年月日・番号 (コピーを添付)	免除資格判定
実技試験 1. 実技試験合格 2. 技能証 3. 商工会和裁 4. 技能検定委員 5. その他 6. 学科試験合格 7. 技能検定合格 (同一職種) 8. 技能照査合格 9. 職業訓練指導員免許 10. () 級技能士コースの普通訓練終了 11. 技能検定委員 (中央協会) 12. その他 ()	都道府県	作業名 [年 月] 日 号 長野 都道府県 フライス盤 R2 年 9 月 ×× 日 0000 号	実技試験 ※ 学科試験 ※

(10) 試験の免除

注① 減免対象の有無については、技能検定受検案内の「受検手数料」の項を参照ください。(対象者は、実技試験受検者で、実技試験実施日が属する年度の 4 月 1 日において25歳に達していない「在職者」及び「在校生」です。)

② 減免の有無に関係なく受検申請者全員が、本人確認書類を右票の(本人確認書類添付欄)に貼り付け添付してください。ちなみに、本人確認書類が添付されていない場合は申請受付ができませんので注意してください。

③ 個人情報の第三者への提供について
技能検定試験業務及び講習会等の案内のため、試験会場・関係団体及び関係企業等へ氏名・住所・電話番号・勤務先を知らせることをご了承ください。

申請書記入例（右側）

※ 6 ページ、「5 受検申請の手続き」とあわせてご覧ください。

※ 申請書は本人が記入し申請してください。

※ 必ず「楷書」で記入してください。（略字は使用しないでください。）

※ インキ、ボールペンで記入してください。（鉛筆、消えるボールペンは使用しないでください。）

(11) 事業所名（学校名）

- ・ 事業所名又は学校名を記入してください。
- ・ 在校生（2 ページ、注）4 に該当する方）は、学校名と「**在学中**」「**訓練中**」と記入してください。

(12) 受検区分

- ・ 試験免除の有無等により、受検しようとする受検区分を○で囲んでください。
- ・ 受検される受検手数料を記入してください。（2～3 ページ、2 受検手数料を参照願います。）

(13) 写真（モノクロでも可）

- ・ 写真は、本人と確認ができるよう帽子、サングラス等の着用のないものにしてください。
なお、写真の裏に級別、受検作業名、氏名を記入し、必ずノリ付けしてください。
- ・ デジタルカメラ等で撮影したものは、縦横の倍率の整ったものを使用してください。
- ・ 実技試験、学科試験の両方免除の方（受検区分D）の写真は不要です。

(14) 事業所名称（学校名）、事業所名称（学校名）住所

- ・ 14 ページ、(8) 職歴と同じ事業所名（学校名）、住所を記入してください。
- ・ 在校生・訓練生（2 ページ、注）4 に該当する方）は、学校名を記入してください。

(15) 領収書

受検手数料を銀行振込みし、「銀行領収印」のある「申請書添付用領収書」を必ずノリ付けしてください。

(16) 本人確認書類

申請者全員が、本人確認書類のコピーを必ず貼ってください。

- ① 運転免許証、個人番号カード（個人番号が記載されている箇所は黒塗りすること。）その他の日本の官公庁が発行した身分証明書（氏名及び生年月日が確認できるものに限る。）のいずれか
- ② 特別永住者証明書、在留カードのいずれか
- ③ 健康保険被保険者証
- ④ 生徒手帳、学生証のいずれか（氏名及び生年月日が確認できるものに限る。）
- ⑤ 外国政府が発行した旅券（写真欄及び日本国査証欄）

※なお、本人確認書類が添付されていない場合は、受付ができませんので注意してください。

記入漏れ等はありませんか？ 20ページのチェックシートでご確認ください。

(右表)

2 級 試 験 写 真 A

職種番号	006	職 種 名	機 械 加 工
作業番号	040	作 業 名	フライス盤
受験番号	※		
フリガナ	シンシュウ タロウ		
氏 名	信州太郎		

試験名	試験中
※ 学科試験	※ 押印 出・欠
※ 計画立案等 作業試験	※ 押印 出・欠

写 真 (5cm×4cm)

申請前3ヶ月以内に
撮影した正面脱帽
半身像のものを貼
付けること。
なお、写真の裏に
級別、受験作業名、
氏名を記入のこと。

R 5 年 4 月 1 日 撮影

(切りはなしてはいけません)

(切りはなしてはいけません)

(右表)

2 級 試 験 写 真 B

職種番号	006	職 種 名	機 械 加 工
作業番号	040	作 業 名	フライス盤
受験番号	※		
フリガナ	シンシュウ タロウ		
氏 名	信州太郎		
事業所名 (学校名)	長野機械加工(株)		
事 業 所 (学 校) 住 所	(〒 380-XXXX) 長野県長野市 〇〇〇町 (TEL 026-000-XXXX)		

試験名	試験前	試験中	
※ 製作等作業 ・計画立案等作業	※ 押印 出・欠	※ 押印 出・欠	※ 該当する試験名(製作・計画 立案・判断)に○ ※ 試験前欄、試験中欄の出・欠 に○ ※ 試験前、試験中の写真確認者 が押印する
※ 計画立案等作業 ・判断等	※ 押印 出・欠	※ 押印 出・欠	

受験資格判定	免除資格判定		手数料収納済印	
※	実技試験	学科試験	実技試験	学科試験
	※	※	※	※

(右表)

2 級

職種名	機 械 加 工
作業名	フライス盤
住 所	長野県長野市大字南長野〇〇〇〇 職能ハイツ305
氏 名	信州太郎
事業所名 (学校名)	長野機械加工(株)

受験する区分に○をし、受験手数料を記入してください。

受験区分	備 考		
A甲	実技・学科試験の両方を受検		
A乙	学科試験のみ受検希望		
A丙	実技試験のみ受検希望		
B	実技試験免除で学科試験を受検*		
C	学科試験免除で実技試験を受検*		
D	実技・学科試験の両方を免除*		
受験手数料	実技 9200 円	学科 0 円	合計 9200 円

*受験区分B, C, Dでは、免除の証明書添付が必要です。

申請書添付用領収書

(この用紙は、申請書へ貼って提出を
してください)

先方 銀行	八十二銀行 県庁内支店		
受 換 料 (振込 金額)	実技試験	千 円	9 2 0 0
	学科試験	千 円	
ご 依 頼 人	合 計	千 円	9 2 0 0
	フリガナ	シンシュウ タロウ	
	信州太郎 様		
受取人	長野県職業能力開発協会 普通預金 口座No. 76406		
備 考			

上記のとおり貴殿あての振込みを取扱いま
したから、ご通知いたします

年 月 日

株式 八十二銀行

(振込銀行→受検申請者→長野県職業能力開発協会)

(本人確認書添付欄)

氏名	信州太郎	平成 10 年 10 月 1 日 発
住所	長野県長野市大字南長野〇〇〇〇 職能ハイツ305	
交付	平成 00 年 00 月 00 日	
有効	平成 年 月 日まで有効	
免許の 条件等	眼鏡等 中型車は中型車(8t)に限る	AT限定
優 良	第 000000000000 号	運 転 免 許 証
平成 00 年 00 月 00 日	平成 00 年 00 月 00 日	平成 00 年 00 月 00 日
検査 機関	検査 機関	検査 機関
公安委員会	公安委員会	

18 年号対照・年齢・卒業年度早見表（参考）

申請書の受検資格（在学、訓練、在職期間）や年齢の記入の際、参考にしてください。

※年齢は誕生日以降の年齢です。誕生日前の年齢は「1」を引いてください。

※卒業年において早生まれ（1月～3月までに生まれた方）の方は前年をご覧ください。

生年		年齢	中学卒	高校卒	短大卒	大学卒
和暦	西暦					
昭29年	1954	69	昭45年	昭48年	昭50年	昭52年
30年	1955	68	46年	49年	51年	53年
31年	1956	67	47年	50年	52年	54年
32年	1957	66	48年	51年	53年	55年
33年	1958	65	49年	52年	54年	56年
34年	1959	64	50年	53年	55年	57年
35年	1960	63	51年	54年	56年	58年
36年	1961	62	52年	55年	57年	59年
37年	1962	61	53年	56年	58年	60年
38年	1963	60	54年	57年	59年	61年
39年	1964	59	55年	58年	60年	62年
40年	1965	58	56年	59年	61年	63年
41年	1966	57	57年	60年	62年	平元年
42年	1967	56	58年	61年	63年	2年
43年	1968	55	59年	62年	平元年	3年
44年	1969	54	60年	63年	2年	4年
45年	1970	53	61年	平元年	3年	5年
46年	1971	52	62年	2年	4年	6年
47年	1972	51	63年	3年	5年	7年
48年	1973	50	平元年	4年	6年	8年
49年	1974	49	2年	5年	7年	9年
50年	1975	48	3年	6年	8年	10年
51年	1976	47	4年	7年	9年	11年
52年	1977	46	5年	8年	10年	12年
53年	1978	45	6年	9年	11年	13年
54年	1979	44	7年	10年	12年	14年
55年	1980	43	8年	11年	13年	15年
56年	1981	42	9年	12年	14年	16年
57年	1982	41	10年	13年	15年	17年
58年	1983	40	11年	14年	16年	18年
59年	1984	39	12年	15年	17年	19年
60年	1985	38	13年	16年	18年	20年
61年	1986	37	14年	17年	19年	21年
62年	1987	36	15年	18年	20年	22年
63年	1988	35	16年	19年	21年	23年

生年		年齢	中学卒	高校卒	短大卒	大学卒
和暦	西暦					
平元年	1989	34	平17年	平20年	平22年	平24年
2年	1990	33	18年	21年	23年	25年
3年	1991	32	19年	22年	24年	26年
4年	1992	31	20年	23年	25年	27年
5年	1993	30	21年	24年	26年	28年
6年	1994	29	22年	25年	27年	29年
7年	1995	28	23年	26年	28年	30年
8年	1996	27	24年	27年	29年	令元年
9年	1997	26	25年	28年	30年	2年
10年	1998	25	26年	29年	令元年	3年
11年	1999	24	27年	30年	2年	4年
12年	2000	23	28年	令元年	3年	5年
13年	2001	22	29年	2年	4年	
14年	2002	21	30年	3年	5年	
15年	2003	20	令元年	4年		
16年	2004	19	2年	5年		
17年	2005	18	3年			
18年	2006	17	4年			
19年	2007	16	5年			
20年	2008	15				
21年	2009					
22年	2010					
23年	2011					
24年	2012					
25年	2013					
26年	2014					
27年	2015					
28年	2016					
29年	2017					
30年	2018					
令元年	2019					
2年	2020					
3年	2021					
4年	2022					
5年	2022					

19 技能検定試験問題集申込用紙

1・2級 技能検定 学科試験問題解説説集

(税込)				
No	取 録 職 種	定価	部数	金額
第4集	金属熱処理	2,420		
第11集	建築面製作/テクニカル イラストレーション	2,200		

1・2級 新版・技能検定 学科試験問題解説説集

(税込)				
No	取 録 職 種	定価	部数	金額
No.2	配管	3,300		
No.3	塗装	3,300		
No.4	型枠施工	1,650		
No.5	鉄筋施工	2,200		
No.8	冷凍空気調和機器施工/ 熱絶縁施工	2,750		
No.9	仕上げ	2,750		
No.10	機械・プラント製図	2,420		
No.11	機械検査	2,200		
No.12	機械加工	3,300		
No.13	造園	2,200		
No.14	金属プレス加工	2,200		
No.15	金属材料試験	2,860		

1・2級 技能検定 試験問題集

(税込)				
No	取 録 職 種	定価	部数	金額
1・2級試験問題集10 (平成20・21・22年度)	農業機械整備	1,650		
1・2級試験問題集34 (平成24・25・26年度)	電子機器組立て	1,980		
1・2級試験問題集37 (平成26・27・28年度)	金属プレス加工	1,980		
1・2級試験問題集39 (平成26・27・28年度)	建築板金	2,090		
1・2級試験問題集40 (平成26・27・28年度)	造園	1,650		
1・2級試験問題集41 (平成26・27・28年度)	左官	1,650		
1・2級試験問題集43 (平成26・27・28年度)	金属熱処理	3,080		
1・2級試験問題集45 (平成26・27・28年度)	機械加工	3,520		
1・2級試験問題集50 (平成26・27・28年度)	かわらぶき	1,760		
1・2級試験問題集55 (平成27・28・29年度)	鉄工	2,200		
1・2級試験問題集56 (平成27・28・29年度)	建設機械整備	2,090		
1・2級試験問題集58 (平成27・28・29年度)	塗装	2,860		
1・2級試験問題集59 (平成27・28・29年度)	電気機器組立て	2,090		
1・2級試験問題集60 (平成27・28・29年度)	機械検査	2,530		
1・2級試験問題集61 (平成28・29・30年度)	機械・プラント製図	1,980		
1・2級試験問題集62 (平成28・29・30年度)	配管	1,870		
1・2級試験問題集63 (平成29・30・31年度)	プラスチック成形	2,090		
1・2級試験問題集64 (平成29・30・31年度)	造船	1,650		
1・2級試験問題集65 (平成29・30・31年度)	とび	1,650		
1・2級試験問題集66 (平成29・30・31年度)	金属熱処理	3,190		
1・2級試験問題集67 (平成29・30・31年度)	仕上げ	2,420		
1・2級試験問題集68 (平成29・30・31年度)	機械加工	3,740		
1・2級試験問題集69 (平成29・30・令和元年度)	熱絶縁施工/冷凍空気調和機器施工	2,420		
1・2級試験問題集70 (平成29・30・令和元年度)	建築大工	1,760		
1・2級試験問題集71 (平成29・30・令和元年度)	空気圧装置組立て	2,090		
1・2級試験問題集72 (平成30・31年度)	建設機械整備	1,980		
1・2級試験問題集73 (平成30・令和元・2年度)	防水施工	1,870		
1・2級試験問題集74 (平成30・令和元・2年度)	塗装	2,530		
1・2級試験問題集75 (平成30・令和元・2年度)	電気機器組立て	2,310		
1・2級試験問題集76 (平成30・令和元・2年度)	半導体製品製造	1,980		
1・2級試験問題集77 (平成30・令和元・2年度)	型枠施工	1,870		
1・2級試験問題集78 (平成30・令和元・2年度)	鉄筋施工	1,870		
1・2級試験問題集79 (平成30・令和元・2年度)	機械検査	2,090		
1・2級試験問題集80 (平成30・令和元・2年度)	機械・プラント製図	2,310		

3級技能検定試験問題集

(税込)				
令和2・3年度版	3級技能検定試験問題集 第1集	定価	部数	金額
室内面衣装飾、造園工事、時計修理、和服製作、大工工事、とび、かわらぶき、建築配管、貴金属装身具製作、広告面附着シート仕上げ、音響機械調整、肖像写真デジタル作業、商品装飾展示、フラワー装飾、冷凍空気調和機器施工、射出成形、銅鉄鋳物製造、曲げ板金/打ち出し板金、左官、金属塗装、コンクリートブロック工事、家具手加工、鉄筋組立て、鉄筋工図作成、型枠工事		1,650		
令和2・3年度版	3級技能検定試験問題集 第2集			
一般熱処理/浸炭・浸炭窒化・窒化処理/高周波・炭素処理、普通旋盤/フライス盤/平面研削盤、数値制御旋盤/マシニングセンター、電気めっき、機械組立仕上げ、機械検査、電子機器組立て、配電盤・制御盤組立て/シーケンス制御、プリント配線板設計/プリント配線板製造、機械製図手書き、機械製図CAD、電気盤・制御盤製図、量産形内燃機関組立て、テクニカルイラストレーション手書き/テクニカルイラストレーションCAD、化学分析		1,650		
平成30・31・令和元年度版	3級技能検定試験問題集 第1集			
室内面衣装飾、造園工事、時計修理、和服製作、大工工事、とび、建築配管、貴金属装身具製作、広告面附着シート仕上げ、音響機械調整、肖像写真デジタル作業、商品装飾展示、フラワー装飾、冷凍空気調和機器施工、射出成形、銅鉄鋳物製造、曲げ板金/打ち出し板金、左官、金属塗装、コンクリートブロック工事、家具手加工、鉄筋組立て、型枠工事		1,650		
平成30・31・令和元年度版	3級技能検定試験問題集 第2集			
一般熱処理/浸炭・浸炭窒化・窒化処理/高周波・炭素処理、普通旋盤/フライス盤/平面研削盤、数値制御旋盤/マシニングセンター、電気めっき、機械組立仕上げ、機械検査、電子機器組立て、配電盤・制御盤組立て/シーケンス制御、プリント配線板設計/プリント配線板製造、機械製図手書き、機械製図CAD、電気盤・制御盤製図、量産形内燃機関組立て、テクニカルイラストレーション手書き/テクニカルイラストレーションCAD、化学分析		1,650		

特級技能検定試験問題集

(税込)				
特級技能士のための管理・監督の知識	定価	部数	金額	
令和2年度特級技能検定試験問題集 第2集	3,960			
めっき、仕上げ、機械検査、ダイカスト、プリント配線板製造、自動販売機調整、光学機器製造、建設機械整備、婦人子供服製造、紳士服製造、プラスチック成形、パン製造	1,870			
令和元年度特級技能検定試験問題集 第1集	1,870			
鍛造、金属熱処理、機械加工、放電加工、金型製作、金属プレス加工、工場板金、電子機器組立て、電気機器組立て、半導体製品製造、内燃機関組立て、空圧圧置組立て、油圧装置調整				
令和元年度特級技能検定試験問題集 第2集	1,870			
めっき、仕上げ、機械検査、ダイカスト、プリント配線板製造、自動販売機調整、光学機器製造、建設機械整備、婦人子供服製造、紳士服製造、プラスチック成形、パン製造				

技能検定 試験問題集 申込用紙

〒	送付先	氏 名
		TEL

- (1) 住所は〇〇ハイッ・〇〇マンション 〇〇号室まで、はっきりと記入してください。
また、事業所でもとりまとめて申し込む場合は、宛先となる事業所名と代表者の部署・氏名を記入してください。
- (2) 本申込書に数量と金額を記載し、FAXで下記番号あてに注文してください。
- (3) 注文いただいたてから、発送まで1週間ほどかかります。なお、連休、お盆、年末年始の時は当協会にお問い合わせください。
- (4) 冊子の送料は、着払いにてご負担ください。
- (5) 冊子の代金は、冊子と同封の振込用紙にて振込してください。

申込先：長野県職業能力開発協会

〒380-0836 長野市大字南長野南県町688-2 TEL 026-234-9050

【注文FAX番号】 026-234-9280

20 技能検定受検申請内容変更連絡書

【コピーしてご使用ください】

令和 年 月 日

長野県職業能力開発協会 検定課 行

FAX：026-234-9280

技能検定 受検申請内容変更連絡書

受検者氏名		受検級	級
受 検 職 種		受検番号	
受検作業名			

変更事項に○ ↓	変更前	変更後
フリガナ		
氏 名		
自 宅 住 所	〒 -	〒 -
連絡先（自宅）	- -	- -
（携帯）		
勤 務 先		
勤務先住所	〒 -	〒 -
勤務先電話番号	- -	- -
そ の 他		

届出者氏名（注3）	
届出者住所	
届出者連絡先	- -

注1. 受検申請書の記載事項に変更が生じた場合には該当する事項にご記入のうえ、当協会宛に郵送又はFAXによりご連絡をお願いいたします。

注2. 氏名が変更になった場合は、戸籍抄本（写し）を添付してください。

注3. 届出者が受検者の場合は届出者氏名への記載は不要です。但し、住所、連絡先はご記入ください。

21 申請書提出時の確認事項（チェックシート）

確 認 事 項	チェック
○本人確認書類（運転免許証、学生証等）のコピーが貼られていますか？	
○受検手数料は正しいですか？ 実技試験2級、3級の受検者及び技能五輪予選会の参加者は受検手数料又は参加手数料が減額される場合があります。（受検案内2ページ、11ページ）	
○受検する職種番号・職種名・作業番号・作業名は正しいですか？	
○職歴及び在職期間は、受検に必要な実務経験年数が記入されていますか？（該当者のみ）	
○職歴欄には検定職種との関連がわかる仕事（業務）の内容が記入されていますか？（該当者のみ）	
○試験の免除がある場合、資格の免除記載及び証書のコピーが添付されていますか？	
○受検手数料を銀行振り込みした際の「申請書添付用領収書」が貼られていますか？	
○その他必要事項は、全て記入されていますか？	